

導入事例 CASE 5



太陽光発電と電気自動車の活用で、災害時の避難拠点としての機能充実を目指す。

佐渡農業協同組合 (JA三井リースオート株式会社)

JA 佐渡 中央営農農機センター

【事業実施場所】佐渡市金井新保 【設立年】1993年（平成5年）【資本金】22億6,914万円 【従業員数】421名

【事業内容】信用事業、共済事業、購買事業、販売事業、農業倉庫事業、加工事業、指導事業、その他事業



佐渡市の電気自動車普及に向けて、積極的にアピールを行っていきたい。

JA 佐渡では、今回2台の電気自動車を導入した。10年ほど前に導入した1台と合わせて合計3台の電気自動車を営業車両として活用している。

2022年に環境省の「脱炭素先行地域」に選定された佐渡市のJAとして、地域の脱炭素推進のために、島内の電気自動車普及を積極的に進めていく計画である。そのため、導入した車両を車両販売担当者が営業時に使用するほか、代車などでも活用することでお客さまに見て、触れていただき、その魅力をアピールしている。

環境負荷の低減、エネルギー供給源の多様化 離島特有の災害脆弱性対応に積極的に取り組んでいく。

電気自動車普及に向けて、島内の充電設備拡充も進めている。直営のガソリンスタンドに急速充電器を導入したほか、各拠点に充電設備を設置し、利便性を高めている。点検整備も、JA 車両センター担当者のノウハウも蓄積し、安心して利用できる環境整備を進めている。

今後は、島内すべての営業拠点に太陽光発電設備を設置するほか、電気自動車も配置することで、停電時のATMへの給電など災害時の電源供給にも活用していく計画である。こうした取り組みを通して、佐渡島内の環境負荷の低減や災害脆弱性解消へ積極的に取り組んでいく。

■ 太陽光発電設備（既設）基本情報

設備竣工年	2011年	年間発電量（2023年実測値）	34,152 kWh/年
太陽光電池モジュール 設備容量	31 kW	パワーコンディショナー 合計出力	30 kW

■ 電気自動車 基本情報

導入方式	自動車リース	メーカー・車名・型式	日産 サクラ ZAA-B6AW（2台導入）		
登録年月	2023年10月	車両本体価格合計（税抜）	4,634,000円	補助金額合計	1,100,000円